

見本

離婚届

令和 年 月 日 届出

青森県十和田市長 殿

受理 令和 年 月 日
送付 令和 年 月 日

閉庁時（土日祝祭日等）に届出する場合は、事前に市民課職員から記入内容の確認を受けてください。
不備な点がある場合は再来庁が必要となります。

離婚届に必要な書類など（主なもの）

- ①本人確認ができる免許証など（裏面参照）
 - ②十和田市に住所を変更する方は、前住所地からの転出証明書。
 - ③資格確認書、個人番号カード（通知カード）、印鑑登録証など。
- ※戸籍謄本の添付は不要です。
※押印は任意

離婚届では住所変更ができません。変更が必要な方は、住み始めてから14日以内（土日以外の日）に市民課へ！

婚姻したときに氏を変えた方はいずれかに☑を入れてください。
離婚しても氏をもどさない場合は、この欄に記入しないで **別紙「離婚の際に称していた氏を称する届」** の用紙を提出してください。

者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いて、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しなくても構いません（この離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。）

2人必要です。成人の方ならどなたでも結構ですが、必ず証人ご本人に記入してもらってください。

未成年の子がいる場合は夫婦協議の上、夫側が妻側に記入が必要です。

いずれかにチェックをお願いします

提出前の取り決め事項

- 1・婚姻前の氏にもどる者の本籍と氏
- 2・未成年の子供がいれば親権者

印鑑登録について

氏で印鑑登録している方が、氏が変わると自動的に登録が抹消となります。必要な場合は、新しい印鑑で登録し直してください。（登録手数料無料）

十和田市の住所・本籍の町名は全て漢字表記になります。（例 東十五番町、ひがしの二丁目など）

夫、妻であった方の自署をお願いします。

修正テープ、修正液は使わないでください。

届出時に同居していれば空白。

本籍は、日本の領土内の実在する場所であればおくことができます。
土日などに届出するときは、事前に確認ください。

父母が離婚するときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。
この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。
・未成年の子がいる場合は、次の☑のいずれかにチェックをお願いします。
☑面会交流について取決めをしている。
☑まだ決めていない。
・経済的に自立していない子（未成年の子に限られ）
☑養育費の分担について取決めをしている。
☑取決め方法：（☑公正証書 ☑それ以外）
☑まだ決めていない。

婚姻

離婚

養子縁組

養子離縁

認知

不受理申出

上記の戸籍届書を持参した方の本人確認を行っています。

本人の知らない間に偽造の届が提出され戸籍に不実の記載がされる事件の防止または、戸籍の信頼を確保するために、戸籍届書を持参した方にご本人の確認できる証明書を提示していただくことにしています。

【本人確認の具体的な証明の例】

※「氏名及び住所」又は「氏名及び生年月日」が確認できるものであることが前提です。

	1枚の提示で足りるもの(例)	2枚以上の提示が必要なもの(例)
証明書の種類	・マイナンバーカード	・資格確認書
	・運転免許証	・船舶保険又は介護保険の被保険者証
	・旅券(パスポート)	・国民年金手帳
	・国又は地方公共団体の機関が発行した身分証明書	・国民年金、厚生年金保険又は船員保険の年金証書
	・海技免状	・共済年金又は恩給の証書
	・小型船舶操縦免許証	・戸籍謄本等の交付請求書に押印した印鑑に係る印鑑登録証明書
	・電気工事士免状	※学生証、法人が発行した身分証明書で写真付きのもの
	・宅地建物取引主任者証	※国又は地方公共団体が発行した資格証明書のうち写真付きのもの(左記に掲げる書類を除く。)
	・教習資格認定証	など
	・船員手帳	
	・戦傷病者手帳	
	・身体障害者手帳	
	・療育手帳	
	・在留カード又は特別永住者証明書	
	など	

「※」の書類のみが2枚以上あっても確認できませんので、ご注意ください。

上記をお持ちでない方でもできますので、窓口にお申し出ください。
本人確認ができなかった届出人に対し届出があったことを郵送でお知らせいたします。
不受理申出については、本人確認ができない場合は、受理できません。
お手数おかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

裏面もご覧ください。